睡眠時無呼吸症候群 (SAS)とは…?

睡眠中に無呼吸を繰り返すことで、様々な合併症を起こす病気です。成人男性の約3~7%、女性の約2~5%にみられます。男性では40歳~50歳代が半数以上 を占める一方で、女性は閉経後に増加します。症状としては、いびき、夜間の頻尿、日中の眠気や起床時の頭痛などを認めます。日中の眠気は、作業効率の低 下、居眠り運転事故や労働災害の原因にもなります。 %SAS(Sleep Apnea Syndrome)

○発症のメカニズム

空気の通り道である上気道が狭くなることが原因です。首まわりの脂肪の沈着が多いと上気道は狭くなりやすく、肥満はSASと深く関係しています。扁桃肥 大、舌が大きいことや、鼻炎・鼻中隔弯曲といった鼻の病気も原因となります。あごが後退している、あごが小さいこともSASの原因となり、肥満でなくても SASを発症するため、決して「太っていないから私は大丈夫!」と言い切ることはできません。

○適切な治療を行わなかった場合

成人SASでは高血圧、脳卒中、心筋梗塞などを引き起こす危険性が約3~4倍高くなり、特に、重症の方では心血管系疾患発症の危険性が約5倍にもなり、危険 な病気です。

○睡眠時無呼吸症候群の潜在患者と治療患者

SASの潜在患者は約250~300万人と言われおり、CPAP装置を使用した治療を行っている患者数は約60万人であり、治療出来ているのはほんの一部という事 がわかります。また、今後の患者数は年間4~5万人増加すると言われております。

〇検査方法

問診や日中の眠気等でSASが疑われる場合は、携帯型装置による簡易検査や睡眠ポリグラフ検査(PSG)にて睡眠中の呼吸状態の評価を行います。PSGにて、 |時間あたりの無呼吸と低呼吸を合わせた回数である無呼吸低呼吸指数(AHI)が5以上であり、かつ上記の症状を伴う際にSASと診断します。その重症度は AHI5~15未満を軽症、15以上~30未満を中等症、30以上を重症としています。

※AHI(Apnea Hypopnea Index) :

睡眠1時間あたりの「無呼吸」と「低呼吸」の合計回数

無呼吸:10秒以上呼吸が停止している状態

低呼吸:吸気振幅が50%以上減少する呼吸等が10秒以上続く状態



〇治療方法

精密検査により、AHIが20以上で日中の眠気などを認めた場合に、経鼻的持続陽圧呼吸療法(CPAP)が主な治療とされています。CPAPはマスクを介して持 続的に空気を送ることで、狭くなっている気道を広げ、閉塞による無呼吸を防ぐ治療法です。その他にも、AHIがCPAPの適用基準以下の場合やCPAP治療を 続けられない場合は、下あごを前方に移動させる口腔内装置(マウスピース)を使用した治療法もございます。小児のSASではアデノイド・口蓋扁桃肥大が原 因であることが多く、その際はアデノイド・口蓋扁桃摘出術を行うこともあります。 **%CPAP(Continuous Posi-tive Airway Pressure)**

※きちんとした治療を続けることで、症状の改善が期待できます!









生活改善

CPAP療法

口腔内装置

口蓋垂軟口蓋咽頭形成術

■CPAP装置 SleepStyle

○使いやすさを追求したシンプルデザイン

SleepStyleは、そのデザインにシンプルさを織り込みました。患者様がより簡単にご使用いただけるように 設計されており、数ステップで治療をスタートすることができます。

○熱線入り呼吸チューブ

従来の呼吸チューブと比べ、軽量設計で患者様の負担を軽減。二重構造の断熱スパイラルと熱線スパイラル により、断熱性がより向上しました。二重構造の断熱スパイラルと熱線スパイラルにより、断熱性がより向 上しました。

○加温加湿器一体型

チャンバーの取り外しやお手入れ、水の交換まで、使用しやすいシンプル設計。

○快適性向上機能

より良い睡眠のため<SensAwake>テクノロジーが導入されています。ブロワーの改良により呼吸への追従 性を向上させ、更なる快適性を提供します。呼気リリーフ機能を新たに採用しました。

○遠隔モニタリング対応

内蔵モデムにより遠隔モニタリング対応。クラウドを利用した管理システムにより、積極的なデータ管理を 可能にします。





